

# HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成24年3月1日

ふるさとの緑を再生するために  
トラックの森の手入れを行いました！

発信元

雲仙復興事務所  
調査・品質確保課 荒金 恵太

今から約20年前に起きた雲仙・普賢岳の噴火災害では、44人の尊い人命だけでなく、約1,600haもの森林が失われました。雲仙復興事務所は、広大な砂防指定地の利活用の一環で、植樹場所の提供を行い、地域住民の方とともに失われた緑の復元に努めています。

「トラックの森」は、中尾川流域千本木地区の砂防指定地において、「長崎県トラック協会」が中心となり、「ふるさとの木による森づくりネットワーク島原」の協力を得ながら、島原本来の植生であるシイ、カシ等の木を植え、森づくりを行っている場所です。

2月26日(日)に、トラックの森でこれまでに植えた若木の手入れと補植が行われました。主催者である「ふるさとの木による森づくりネットワーク島原」のメンバーの方17人と当事務所の職員6人が参加し、ふるさとの緑の再生に精を出しました。



千本木地区を襲う火砕流

(1993.6.24)



植樹する人たちと  
砂防えん堤

皆さんお疲れ様でした！



普賢岳をバックに記念撮影



下草刈りの効果  
(手前が作業後、奥が作業前)